

# 『介護におけるダイバーシティを どう進めるか』

2017年9月、在留資格「介護」が創設されました。養成校の留学生も増加、卒業生も現場で活躍はじめました。来日された方への地域の特色ある支援活動も見受けられるようになっていきます。これらの今後の展開について、一緒に考えてみたいと思います。  
(敬心学園 職業教育研究開発センター センター長：川廷宗之)

日時

平成30年9月29日(土) 13:30~16:45 (受付13:00~)

会場

早稲田速記医療福祉専門学校 8階 視聴覚教室

費用

500円 \* 参加費(資料費)

## ◇◇ プログラム(予定) ◇◇

総合司会: 橋本 正樹(学校法人川口学園 早稲田速記医療福祉専門学校 校長)

13:30~13:40 **開会挨拶** 小林 光俊(学校法人敬心学園 理事長・全国専修学校各種学校総連合会 顧問)

13:40~13:55 **基幹報告** 『留学生の学習支援に関する研究開発プロジェクト』の経緯報告と今後の計画

蔵本 孝治氏(認定特定非営利活動法人外国人看護師・介護福祉士教育支援組織 理事)

ボランティア活動をきっかけに、障害者福祉・介護業務に従事。2009年EPA看護師・介護福祉士候補者の支援業務に携わったことを機に、外国人介護職員との協働をテーマに活動する。介護福祉士・介護支援専門員・社会福祉士。

13:55~15:05 **パネルディスカッション** 『留学生から見た日本の介護』

<コーディネーター> 佐々木 綾子氏(千葉大学国際教養学部 講師)

上智大学文学部社会学科卒。ニューヨーク州立大学大学院社会福祉研究科修了(MSW)。その後NGOや財団での研究業務を経て、一橋大学大学院社会学研究科修了、博士(社会学)。専門は国際社会福祉、人の国際移動と社会福祉。

<シンポジスト>

・文(むん) シナ氏(早稲田速記医療福祉専門学校 留学生:母国 韓国)

2016年来日。2年間、日本語学校で学び日本語能力試験N2取得。韓国ではデザイン、秘書業務を経験。

・ムハammad リズキ シャリフラー氏(日本福祉教育専門学校 留学生:母国 インドネシア)

2016年10月来日。以前より亡き祖父に恩返ししたいと考えていた。名古屋の老人ホームでアルバイトをした際、職員の仕事ぶりに感心し、介護福祉を深く学ぼうと決め、進学の為上京。趣味は日本の音楽を聞くこと・歌うこと。

・スビンガ アラチーゲー シローミ プリヤダルシャニ(関東福祉専門学校卒業後 社会福祉法人元気村特別介護老人ホーム 馬室くまむろ>たんぽぽ苑裕園<しょうゆうえん>に勤務:母国 スリランカ)

2014年留学生として来日。17年3月入職。入管難民法改正による介護職初の在留資格取得対象の一人。在学中も介護施設でアルバイト、学びと実践を統合し常に利用者一人一人の「より良い生活、より良い人生」を考え支援する大切さを学ぶ。夢は「入居者がみんな優しくて人との触れ合いが楽しい。いつか自分の国で老人ホームをつくりたい」

15:05~15:15 **休憩**

15:15~ **事例報告・情報提供とご挨拶**

事例報告: 『地域で育てる多文化介護  
~すみだ日本語教育支援の会』

プログラム詳細 裏面に続く

<会場住所・交通ご案内>

東京都豊島区高田3丁目

11-17 NKビル

・JR山手線高田馬場駅

早稲田口 徒歩1分

・西武新宿線高田馬場駅

徒歩1分

・東京メトロ東西線高田馬

駅 4番出口 徒歩1分



## 15:15~16:25 事例報告 『地域で育てる多文化介護～すみだ日本語教育支援の会』

<コーディネーター> 小川 玲子 氏 (千葉大学 社会科学研究院 准教授)

専門は移民研究、社会学。九州大学准教授を経て、2017年より現職。国際交流基金コーディネーター、国立民族学博物館客員研究員、JICAジェンダー主流化研修講師等を務める。共著に*Gender, Care and Migration in East Asia* (Palgrave Macmillan, 2018)、*Women, Work and Care in the Asia-Pacific* (Routledge, 2017)など。

<報告>

『日本の介護施設で働いて』フィリピン人介護福祉士 疋島ヘルミニア 氏 フィリピン出身で日本在住32年。子供三人。2005年ホームヘルパー2級取得後、介護の仕事を始める。2008年から介護の日本語教室で日本語を勉強。2015年介護福祉士国家試験に合格。2016年フィリピン人ボランティアグループ、アボット・カマイを主宰。

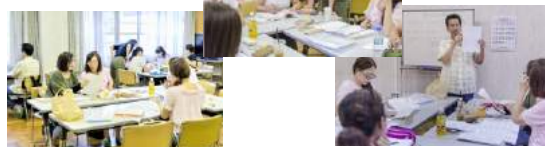
『地域における多文化共生の実践』NPO法人「てーねん・どすこい倶楽部」

柳田 恭子氏 父の仕事の都合で5才から墨田区在住。息子、孫と三代地元の小学校を卒業。平成19年に「どすこい」に入り、日本語教育支援に携わる。



「てーねん・どすこい倶楽部」

東京都墨田区で平成14年に発足。区内で定年を迎えた人たちが、今まで培ってきた経験や技能、特技を地域社会に還元しながら参画。住みよい社会の手伝いが出来たらと結成され平成19年に、東京都からNPO団体として認証を受ける。シニア人材バンクを始め、子育て支援、日本語教育支援、IT支援、情報誌部、その他数部あり、70数名いる会員がそれぞれの分野で活動している。



## 16:25~16:45 情報提供とご挨拶

『グローバル介護検定』について小林 英一 (敬心学園職業教育研究開発センター 研究員)

残された課題と今後の展望

川廷 宗之 (敬心学園職業教育研究開発センターセンター長・大妻女子大学 名誉教授)

学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター主催第7回 公開研究会  
『介護におけるダイバーシティをどう進めるか』(9/29) 参加申込書

下記事項を公開研究会事務局あてに、メール: [vetr-di-kensyu@keishin-group.jp](mailto:vetr-di-kensyu@keishin-group.jp)  
もしくは下記、電話・FAXにて お申し込みください。(先着100名様)

組織・団体名	
部課名・役職	
お名前	
電話・eメール	

個人情報の取扱いについて

- ご記入・ご連絡いただきました個人情報は、本成果報告会に関するご連絡(参加確認)等、本公開研究会の開催・運営を目的として、利用させていただきます。
- 円滑な運営を図るため、当該個人情報(組織・団体名、部課名・役職、お名前、電話・eメール)は、公開研究会事務局およびスタッフに開示します。
- 当該個人情報は学校法人敬心学園職業教育研究開発センターの関係者のみが取り扱い、その他の第三者には一切提供いたしません。

ご質問・ご不明な点などございましたら、下記運営事務局までご連絡ください。

学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター 公開研究会事務局担当: 杉山・北出・島谷  
東京都新宿区高田馬場2-16-6 宇田川ビル6F TEL: 03-3200-9074 FAX: 03-3200-9088